

報恩講寺の御詠歌

松 濤 基 作 曲
鈴 木 錦 承 振 付

唱え奉る報恩講寺の		正座したまま静かに合掌
御詠歌に		合掌のまま静かに立ち両手をおろす
歌	手	足
ご		
く	両手掌を上にし肘を張り胸前にて右手上に	右足を右斜前方に出す
	して重ねる	
ら	両手を下、両側を通して頭上に作円する	左足を更に右足斜前方に出す
	(掌上)	
く		
も	両手両側を通して下す	右足を更に右斜前方に出す
	両手下方より 上げる 如く胸前に交差して	左足を右足前より右方にふみ出し両膝をまげ
	掌を上にして両側に伸す	る
ご		
く	同上同要領の動作を行う	「ごくらくも」と同じ動作を斜左方に行う
	(両手先を重ねる時は左手を上にする)	
ら		
く		
も		
か		

歌	手	足
く	両手掌を上にし右肩の高さにして	右足そのまま踏み込んで
｜	右方に上げ	小走りで左廻りして右方へ走り右向きとなる
や		
あ	両手そのまま前方を通して左方肩の	
｜	高さに持ってくる	
る		
ら	右手掌を上にしたまま前方目の高さに	右足を一步出す
｜	捧げ左手掌を下にして左下方に伸す	
｜		
ん	軽く頭を下げる	左足を更に出し軽く膝をまげる
｜		
あ		
ら	頭を上げ上方を見る	左足を一步下げ体重をかける
｜		
｜		
た		右足を一步さげ体重をうつす
｜		
の		
し	両手下方より胸前交差しつつ上方に上げて	正面向きとなり左足を前に出す
｜	いく	
｜		
｜	上方より両側を通して胸前交差、胸を抱く如く	右足を左足前に交差する如くに出し膝を軽く
｜	する(右手外側)	まげる
はや	両手掌を下にして両斜側方に伸す	

歌	手	足
ま	右手首をゆるく廻して掌を下にして右方に	右足を後方に引き体重を移す
い		左足に体重を移す
ら	伸す	右足に体重をうつす
ば	左手首をゆるく廻して掌を下にして左方に	左足を後方に引き体重を移す
｜		右足に体重をうつす
｜	伸す	左足に体重をうつす
｜	同要領を右手に行う	「まいら」の要領で右足よりさげる
｜		
｜		
や	左手掌を上にして止め	「ば……」の要領で左足よりさげる
｜		
な	両手各々斜上方にあげ掌を上にする	
む		右足を斜右前方に出す
｜		
｜		
あ	頭を下げ胸前合掌する	左足を右足の前に交差する如くに出して
｜		膝をまげる
｜		
｜		
み		
だ	「む」と同要領	左足を斜左前方に出す
｜		
｜		

歌	手	足
ぶ	「あ」と同要領	右足を左足の前に交差する如くに出して
		膝をまげる
ウ ウ		
つ	右手のみ掌を上にして前方に上げる	右足を後方に下げ右膝をつく
	左足は片手合掌のまま	
	軽く頭を下げる	
以上終って左足を引いて正座し合掌する(動作を左右反対に行い二人舞も出来る)		

ポイント注意

【あーーたーのしーーーはやまいらばーーーーやー】

ステップ。足の運びと体重の移し方をよく見てください。この時、手の動きにも注意してください。

【ぶーーウウ】 右手の動き。合掌の右手をあげて、手の平をかえして捧げます。

報恩講寺の御詠歌の舞図解

